

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -190	2024/11/1	Fat Leonard Still Weighs on WestPac Logistics	【米海軍汚職関連】 ファット・レナード事件は今も西太平洋のロジスティクスに重くのしかかる	Proceedings 2024/11/1	 2013年に発覚した西太平洋における米海軍の一大汚職事件(いわゆるファット・レナード事件)の影響は、今も米海軍の後方支援に大きな足かせとなっている、という論文です。日本でも、防衛調達に関する不祥事が過去に色々ありましたが、そのたびに再発防止のための制度が作られ、現場はがんじがらめになって(部隊運用にも支障をきたして)いるというのと、同じ図式の様です。プロシーディングス誌11月号から。下線は訳者。	岩崎洋一
2024 -191	2024/11/26	U.S. Carrier Makes First Malaysian Port Call Since Leonard Francis Arrest	【米海軍汚職関連】 レナード・フランシスが逮捕されて以降初めて米空母がマレーシアに寄港	USNI News 2024/11/26	 ファット・レナード事件のその後の現地からの報告です。事件の温床となったポートクランのクルーズ・ターミナルは、過去からいろいろの変遷を経て今に至っているのが分かります。事件後12年ぶりに米空母が入港したということです。	岩崎洋一
2024 -192	2024/11/5	French, UK naval chiefs urge dramatic changes in warship design	【英仏海軍首脳艦船設計への要望】 英、仏の海軍司令官が軍艦設計の劇的な変更を督促	Defense News 2024/11/5	 Euro Navallにおいて、英仏の両海軍作戦長官が軍艦設計における劇的な変更に関し、意見を開陳しています。海軍は比較的「保守的」と言われる中、両国海軍大將が述べる内容は非常に重いものです。長期に亘り使用する軍艦が、実戦の経験で得られたあらゆる脅威に対応するため「理想と現実の乖離(乗員数はやはり必要だ)」という点を、著しい就業人口減少の日本で軍艦設計にどう反映させられるのか、気になるところです。	山越博道
2024 -193	1952/9/1	I Led the Air Attack on Pearl Harbor	【真珠湾攻撃関連】 私は真珠湾攻撃を指揮した	Proceedings 1952/9/1	 今から83年前の真珠湾攻撃で、総飛行隊長を務めた淵田美津雄中佐の血沸き肉躍る手記です。プロシーディングス誌1952年から。	岩崎洋一
2024 -194	2024/12/10	Satellite Photos Show Russian Navy Exodus From Syria, Syrian Missile Boats Sunk at Pier	【シリア情勢関連】 衛星写真によれば、ロシア海軍がシリアから撤退、シリアのミサイル艇は棧橋で撃沈	USNI News 2024/12/10	 ロシア軍の地中海における拠点が失われるとすれば、ウクライナ侵攻は高がついたこととなります。	岩崎洋一
2024 -195	1965/4/1	The Mothball Fleet (Pictorial)	【艦船保存手法関連】 モスボール艦隊	Proceedings 1965/4/1	かなり古い記事ですが、米海軍艦艇のモスボール手法がよくわかる記述になっています。原文では記事とともに写真が掲載されていたようです。海自艦艇でも予算不足時代はモスボールが検討されたことはありましたが、これからは人員不足が原因でモスボールが検討されるかもしれません。なお、現在米海軍のモスボール艦隊は5段階に分類されているようです。	佐々木司
2024 -196	2024/12/11	US successfully conducts ballistic missile intercept test from Guam, Pentagon says	【米弾道弾迎撃実験成功】 グアム島での弾道ミサイル迎撃実験に成功、と米国防総省が発表	Reuters 2024/12/11	 イージス・グアム・システムでSM-3ブロックIIAを発射して、中距離弾道ミサイルの迎撃に成功したというニュースです。	岩崎洋一
2024 -197	2024/12/12	MDA Intercepts Ballistic Missile Target in Test of Guam Defenses, Aussies Fire Tomahawk	【米豪ミサイル実験情報】 米ミサイル防衛局(MDA)がグアム防衛の試験で弾道ミサイル標的を撃墜、オーストラリアはトマホークを発射	USNI News 2024/12/12	 先日のグアムBMDでは日米のイージス艦、「はぐろ」と「ミリウス」が連携して訓練を行ったということです。オーストラリア海軍がトマホーク発射を行ったというニュースも合わせて、USNIニュースから。下線は訳者。	岩崎洋一
2024 -198	2024/12/10	China Develops a Near-Light-Speed Radar System to Counter Submarine Stealth.	【中国潜水艦探知技術】 中国がステルス潜水艦用の近光速レーダー・システムを開発	Naval News Navy 2024/12/10	 真偽の程は分かりませんが、長さ100m、小型版で30mの送信機を設置できる艦船はどの程度あるのでしょうか。	川原梅三郎
2024 -199	2024/12/13	NATO Secretary General implores allies to shift to wartime mindset and spend more on defence	【NATO加盟国防衛費関連】 NATO事務総長、同盟国に戦時思考への転換と防衛費増額を促す	European Security & Defence 2024/12/13	 欧州はウクライナの戦争を深刻に考えています。戦時体制となるのか。	川原梅三郎
2024 -200	2024/12/1	Military and Security Developments Involving the People's Republic of China 2024	【中国軍事力分析】 中国の軍事力および安全保障の動向2024 抄訳(目次、序文、要旨)	U.S. Department of Defense 2024/4/9	 Military and Security Developments Involving the People's Republic of China 2024 の要旨です。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -201	2024/12/24	DARPA Completes Automated Fueling-At-Sea Test For USV Program	【米USV試験関連】 DARPA、USVプログラムの自動洋上給油海上試験を完了	Naval News 2024/12/24	 USVの洋上給油を無人で実施し、更にUSVは、1年毎のメンテナンス期間の間、人が居なくても運用できるという記事です。記事と写真からは、具体的な内容が分かりませんが、要注目です。	川原梅三郎
2024 -202	2024/12/9	The Type 26 Frigate - more than just a submarine hunter	【英Type 26搭載物件関連】 Type 26 フリゲート艦 - 単なる潜水艦ハンター以上の存在	Navy Lookout 2024/12/9	 3D Print Factory-in-a-box 英国で建造中のType 26に搭載する持続的運用展開システム (PODS)構想の概要を示す記事です。これは、本艦の多目的性能の根幹を成すもので、各種の機能が検討されている模様です。米海軍LCSのミッション・モジュールと同様な発想ですが、その教訓を得て、PODSの開発は、搭載艦の建造と同時期に進められ、定型コンテナに収まる形態になっています。Type 26は、PODSの搭載替えも自艦で実施できる機能を有しています。しかし、意外にもType 26の設計は、空間・重量的な余裕は余り多くはないようです。非常にユニークな取組みであり、動向に注視していきたいと思えます。	本山泰之